

花見川区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和4年度)総括表

◆基本方針別取組状況

【達成状況の目安】◎:年度目標以上のものが達成できた ○:年度目標が概ね達成できた
△:年度目標の一部が達成できた ×:年度目標が全く達成できなかった、又はほとんど達成できなかった

基本方針	取組項目数	重点取組項目数	重点取組項目の達成状況	主な取組内容	
1 心身の健康と交流の場づくり	10	10	◎	・2年間で中止であった「障害者バス旅行」を再開。「健康体操」「ふれあいコンサート」も実施できた。【朝日ヶ丘】 ・サロン、散歩クラブは、コロナ禍でも継続実施することができた。【積橋】	
			○	3	・コロナ禍で子ども食堂の開催が難しくなったため、フードパントリーを継続実施した。【積橋】 ・コロナ禍で中止となっていたイベント(落語会、ポッチャ体験会)を開催することができた。【積橋】
			△	6	・「いきいきサロン」は計画どおり実施できたが、「食事サービス」は、1回も実施できなかった。【幕張・武石】 ・ふれあい3事業は85カ所のうち、67カ所で開催された。【花見川】
			×	1	・敬老会は柏井小学校区6町内自治会(合同)とソレイユ鷹の台自治会の2会場で実施された。【花見川】 ・柏井小学校区の子ども会を中心に「みんなで歩いてビンゴ」を実施した。【花見川】 ・認知症や障害のある方、その家族等が集える場の検討を行い、適当な場所の確保に努めた。【こてはし台】 ・全世代参加型新規事業の設立の検討を行い、次年度の検討委員会への提案が可能となった。【こてはし台】 ・地域内のいきいきサロン(3カ所)の活動を再開することができた。【天戸】 ・地域内の2カ所で、敬老祝賀会を開催することができた。【天戸】 ・敬老会未開催地区の対象者から強い要望があり、「いきいきサロン」で忘年会を開催した。【天戸】 ・中止が続いていた「福祉まつり」の再開に向け、地域で「あいさつキャンペーン運動」を実施した。【さつき】 ・2年間で中止となっていたグラウンドゴルフ大会を3年ぶりに開催することができた。【幕張本郷】
2 支え合い、助け合いのできる地域社会づくり	16	16	◎	・「見守り活動団体交流会」に参加し、他地区の活動内容や課題・問題点などを学んだ。【花見川、こて台中】	
			○	9	・「花園おせっかい」活動は、チラシ、ポスターによる声掛け活動を実施した。【花園】 ・伝統的な活動(サロン、食事会、敬老会等)を継続し、住民同士の顔の見える関係づくりに努めた。【花園】
			△	6	・あんしんケアセンターや消費生活センターと連携し、講演会を実施した。【朝日ヶ丘】 ・見守り対象者の現状見直しアンケートを実施。また、対象者向けに「見守りたより」を発行した。【こて台中】 ・各町内自治会において、災害時要支援者の支援体制を構築することができた。【幕張・武石】
			×	1	・認知症サポーター養成講座を開催し、認知症に対する理解を深め、ステップアップを図った。【幕張・武石】 ・見守り対象者の拡大に取り組んだが、1町内会では減少、1町内会では現状維持であった。【花見川】 ・地域ケア会議に出席し、地域の実情等の発信を行った。【花見川】 ・花見川団地内の支え合い活動を継続実施するとともに、他地域への活動普及啓発に努めた。【花見川2】 ・地域ケア会議に参加し、「訪問介護事業者の車輛駐車問題」についての解決策を決定した。【こてはし台】 ・いきいきサロンにあんしんケアセンターやいきいきプラザの職員を招き、参加者の相談に対応した。【天戸】 ・「避難行動要支援者名簿」を活用しての発災時保護計画の立案を行った。【天戸】 ・緊急通報システム設置の推進を行った。【天戸】 ・発災時の在宅避難・分散避難への移行に伴い、地域内の指定避難施設数の拡大を行った。【天戸】 ・「ボランティアだより」の内容をより分かり易く便利なものとして発行し、普及啓発活動に努めた。【さつき】 ・朝のゴミ出し支援を継続実施した(希望者なし)。【畑】
3 地域情報の発信と人材発掘・育成の仕組みづくり	7	7	◎	・広報紙の内容を従来の報告型から啓発型の記事に変え、発行回数を増やした(R3…2回→R4…4回)。【朝日ヶ丘】	
			○	3	・新たな担い手の育成・確保に向け、広報紙を通じた啓発活動に努めた。【花見川第2】
			△	2	・子どもの居場所立ち上げに向けて、関係機関との会合や他地区の活動の視察を行った。【花見川第2】
			×	2	・ホームページの内容修正について、コロナ禍により作業が遅れたが年度後期に着手し修正を行った。【こてはし台】 ・広報紙の定期発行再開と、ホームページ、メールマガジンの立ち上げを行った。【天戸】
4 安全・安心なまちづくり	3	3	◎	・避難所ごとに、避難所開設運営訓練が行われた。【花園】	
			○	1	・「花園おせっかい活動」で、防犯・防災に関するポスターを作成し、啓発活動を行った。【花園】
			△	1	・避難所運営マニュアルは更新なし(一部自治会で更新)。【花見川】
			×	1	・各町内会で防犯・防災訓練が実施された(花見川住宅自治会(11月)、鷹の台自治会(1月)、新鷹の台第二自治会(2月))【花見川】 ・パトロール(平時・歳末)が、4町内自治会で実施された。【花見川】
今年度の振り返り	36	36	◎	0	
			○	16	今年度も新型コロナウイルス感染の爆発的な流行期間があり、コロナの影響を大きく受けた1年であった。そんな中で、久しぶりに地域イベントが再開できた地域もあり、対面方式での敬老会の開催に至った地域もあった。コロナ禍では、なかなか再開の見込めない活動(食事を伴う活動など)も、再開に向けた準備や検討を行ったり、手法を変えて実施したりした地域も出てきており、来年度に向けて明るい兆しが見え始めてきていると感じている。
			△	15	
			×	5	

今後の課題と方針	新型コロナウイルスも第5類へと移行され、今まで停滞が続いていた地域活動の再開が大きな課題となると思われる。しかし、停滞期間が長期に渡り続いたことで、担い手の高齢化も進み、本来であれば若い世代に受け継がれていくノウハウの継承もないまま時が過ぎてしまっており、地域活動再開の妨げとなっている。若い世代の担い手を取り込み、先人たちの取組を継承しつつ、新たな活動にも取り組んでいく必要があると思われるが、地域住民や行政、民間企業、学校など、様々な機関が協働して地域福祉を盛り上げていく必要がある。今年度は、花見川区の一大イベントである「花見川区民まつり」を再開するなど、花見川区一丸となって地域活動活性化の気運を高めていきたい。			
----------	--	--	--	--

◆区支え合いのまち推進協議会開催状況

回数	開催日	主な議題
第1回	7月25日(月)	(1)花見川区支え合いのまち推進計画に準じた取組状況(令和3年度)について (2)花見川区支え合いのまち推進計画(第5期花見川区地域福祉計画)について
第2回	12月12日(水)	・第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況(令和4年度)中間報告について ・推進協だより(第24号)原稿案について ・花見川区支え合いのまち推進計画に準じた取組状況(令和3年度)について
第3回	令和5年 3月10日(金)	・第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況(令和4年度)について ・推進協だより(第24号)について

◆区支え合いのまち推進協議会だより発行状況

号数	発行日	発行部数及び主な配布先
第24号	令和5年 3月15日(水)	発行部数:6,000部 主な配布先:各町内自治会へ郵送、窓口配布270部

◆区の地域福祉に関する紹介事例等

※ 区内で実施している取組みの中で、工夫して取り組んでいる事例について自由にご記入ください。

(枠内に収まらない場合は、A3裏面1枚の範囲で追加いただいて構いません。)

積橋地区部会エリア『フードパントリー』

積橋地区部会では、地域の子どもたちがみんなで食事を楽しめる場、また大人たちとお話ができる居場所として、平成29年度より子ども食堂を開催、ふるさと農園の調理室で月1回、毎回約10名の子どもたちやその保護者が参加しておりました。

しかし、コロナの影響により、飲食を伴う活動の開催は難しくなりました。そこで、「コロナ禍だからこそ、子どもたちに元気を与えたい」という想いから始めたのが、この食品や日用雑貨を無料で提供する「フードパントリー」です。現在年間5回程度、土曜日の午前中に、ふるさと農園の正面入口で開催しています。この日(R5.3.4)は、約20名の子どもたちが利用しました。今では、毎回楽しみに訪れる子どもたちもおり、地域の方々からの食品・食材の寄附も増え、この地域の新たな行事として定着しつつあります。

